

「2012年度 特定研究助成」申込の留意事項

申込に際しては募集要領およびFAQを熟読のうえ、下記留意事項に従ってお申込みください。応募用紙はダウンロードしてお使いください。

1. 応募用紙は「2012年度特定研究助成申込書」、「研究要旨」、「助成申請金額および使途計画」および「被助成歴」の4様式から成っております。各項目に従って記入ください。

(1) 応募機関・住所・郵便番号・氏名・部科・職位・電話番号・E-mail については、連絡をさせていただく必要上、正確に記入ください。

(2) 「研究要旨 No. 5～No. 6」に代表申請者の論文リスト（15件以内）および共同研究者の論文リスト（各3件以内）、リスト記載時の留意事項①全著者名を記載する②代表申請者名および共同研究者名には下線を引く③雑誌名はゴシック体で記載する）を記載し、代表申請者の論文（2編までに限る）を添付ください。書ききれない場合は「研究要旨 No. 7」を利用ください。

(3) 各用紙に氏名欄が有りますので、記入漏れのないようにお願いします。

2. 応募書類を郵送する場合は、特定研究助成申込書を3部（原本1部、コピー2部）研究要旨および論文を2部（原本1部、コピー1部）提出ください。また、送付の封筒表面に「特定研究」と記入ください。

応募締切：2012年4月5日（木） 必着

3. 助成金をお受けになった代表申請者には、後に下記のことをお願いしますので、その旨お含みのうえ応募ください。

(1) 研究経過（2014年5月末）、研究結果（2015年5月末）の報告をお願いします。

研究経過報告については経過概要を原稿用紙3～4枚程度にお纏めのうえ報告ください。

研究結果報告については研究途中の場合は経過概要を原稿用紙3～4枚程度にお纏めのうえ報告ください。研究終了後に改めて論文または研究結果の報告をお願いします。

研究結果を論文発表された場合には別冊またはコピーを一部当財団宛に送付ください（研究結果報告の代替とします）。報告いただいた論文は助成対象者公表文献一覧表として財団ホームページに掲載します。

論文発表されない場合は研究結果を原稿用紙3～4枚程度にお纏めのうえ報告ください。

(2) 研究の発表に際しては、当財団からの助成を受けた旨の記載をお願いします。

（財団英文名：Takeda Science Foundation）

4. 助成金は、対象研究に直接関係ある費用に限って使用ください。当財団は施設への助成金（寄附金）申込時に間接経費（いわゆるオーバーヘッド）の免除の願いをしております。また、助成金は施設での受入および管理を原則としております。なお、使

用期限は特に定めておりません。

2015年5月末までに収支報告書（様式は自由）を提出願うこととしております。

研究途中の場合は2015年3月末時点での収支報告書を中間報告として提出ください。

研究終了時に改めて収支報告書の提出をお願いします。

5. 助成金は、2012年度中に代表申請者に一括贈呈します。

6. 2009、2010、2011年度に本助成を受けられた下記の機関の応募はできません。

愛知県心身障害者コロニー、愛媛大学、大阪市立大学、大阪大学、大阪バイオサイエンス研究所、大阪府立病院機構、岡山大学、九州大学、京都大学、熊本大学、群馬大学、慶応義塾大学、神戸大学、埼玉医科大学、自然科学研究機構、昭和薬科大学、先端医療振興財団、玉川大学、千葉県がんセンター、筑波大学、東京医科歯科大学、東京工業大学、東京大学、東京理科大学、東北大学、徳島大学、名古屋大学、奈良先端科学技術大学院大学、浜松医科大学、広島大学、宮崎大学、横浜市立大学、琉球大学

7. 応募内容は秘密を厳守し、本選考以外には使用しませんが、提出いただいた書類は返却しません。また、助成対象者に関する情報（氏名、所属、研究課題、金額）は、一般公開しますので、予め了承ください。

以 上